

事業所名

びーすの児童デイびころ

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

27日

法人（事業所）理念		びーすの児童デイの目標は、子どもの成長力を”えんばわ”すること。 子どもの「自ら成長しよう」とする力を、家族が「たのしく暮らそう」とする力を、周囲の「ともに生きよう」とする力をめいっぱい活かしてもらう支援を行います。 ※エンパワメントとは、本人が本来持っている力を発揮できるよう、自分自身が人生の主人公となる力をつけ、生活や環境をコントロールできるようにしていくこと。		
支援方針		①健康な身体づくり②身辺自立の練習③大人との信頼関係の構築④豊かな幅の“遊びの体験”⑤（保護者の）就学に向けての「障がい特性」の把握援助		
営業時間		営業時間 10時00分～18時00分 活動時間 平日10時00分～16時00分 土 10時00分～17時00分 ※但し、グループにより別途設定あり	送迎実施の有無	あり なし ※土曜日は特別な理由がない場合は保護者様に送迎をお願いしています。
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握、病気の予防、安全への配慮を行います。 食事、衣服の着脱、排泄等の日常生活に必要な基本的な技能が身に付けられるように支援します。 特性に配慮し、時間や空間をわかりやすく構造化して提供し、安心して過ごせる環境を整えます。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚を統合しながら成長できるように感覚の特性を踏まえた遊びや遊具を用意し、それらを用いながら積み重ねた支援を行います。 感覚の過敏さを感じる子どもには、イヤーマフや刺激が入らないような環境調整を行っていきます。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 粘土や寒天遊び等の感触遊びを通して、物質の変化と感覚の認知形成を図ります。 それぞれの子とも合わせた個別課題を用意し、形・色・分類等の概念理解の支援を行います。 視覚支援を用いながら、見通しや切り替えの練習を行い、子どもが納得して活動に移れるような支援を行います。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや生活の中で掛け声や擬音・擬声語を取り入れ、自発的な発声・発語を促すように支援します。 話し言葉や写真・絵等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行います。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担をしたりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援していきます。 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な面談や日頃の様子などについてやりとりを継続して行います。 子育て上の課題や困り感に寄り添いながら、必要な助言を行い、家庭の子育て環境の整備を行います。 参観週を設けて、普段の様子を保護者の方に見て頂いています。 グループ支援としてペアレントトレーニングを行っています。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 移行先へ援助方針や支援内容の共有・支援方法の伝達を行います。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> サービス担当者会議や送迎時に情報共有を行い、所属先の園と連携しながら支援を図っていきます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の全職員研修以外に、個々の立場やスキルに応じた外部研修受講を義務化しています。また、毎月の支援会議では支援方針や方法について日々の支援に活かせるように話し合いを行っています。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練（年2回）・季節に合わせたイベント（七夕・ハロウィン・クリスマス・お正月） 		